

令和3年度 第2回学校運営協議会 議事概要

開催日：令和3年11月18日（木）

時間：14：40～16：50

会場：深沢高等学校会議室

司会：河辺総括教諭

記録：学校運営協議会事務局員

<出席委員>

片岡奈美 委員（会長）
池田吉伸 委員（副会長）
池田実 委員
里見正憲 委員
嶋村勝美 委員
堀井久章 委員
小林瑞幸 委員
萩谷英明 委員

（委員総数8名、欠席1名）

<説明のための出席教職員>

村田克也 副校長
沼田伊里 教頭
高野真一 事務長
大谷英弘 総括教諭
河内卓矢 総括教諭
北澤健 総括教諭
山本英夫 総括教諭
小松原肇 総括教諭
河辺尚宏 総括教諭

（事務局員総数9名）

<公聴者>

新型コロナウイルス感染予防のため、今回は公聴席を設けませんでした。

<議事等の概要>

1 授業参観

校内を移動し、1年生の総合的な探究の時間における「模擬裁判」を中心とした6校時の授業を参観していただいた。

2 出席者あいさつ

萩谷校長

本日はお集まりいただきまして、ありがとうございます。県内における12～19歳のワクチン接種率が、68%を超えました。本校でも陽性者が出ることなく、教育活動を進められています。先日、規模縮小をした中で文化祭が行われました。先ほど皆様には、生徒が書いた「ありがとうメッセージ」が貼ってあるツリーを見ていただきましたが、教員へのありがとうのメッセージも多数見受けられます。また、教員対象のストレスチェックの結果を見ても、本校はストレ

スの度合いが少ない学校であり、生徒と教員の関係性が非常に良いことが伺えます。こうした長所を維持していくためにも、本日の協議会をよろしく願いいたします。

片岡会長

P T A会長として活動しておりますが、今年も行事等であまり関わることができず、残念に思っています。P T Aとしての活動もコロナ禍で制限される中、最近ではP T Aの会議を Zoomで行っています。今朝、本校のHPに載っている学校紹介ビデオを見ました。とてもよくできたビデオでした。また、HPにも掲載されていますが、私もこの深沢高校でスペイン語の公開講座を受講しています。窓から見える木々を見ながら生徒と同じような気持ちで授業を受けています。

桜美林大学 里見委員

大学もオンライン授業を中心に行っていたところから、徐々に生徒が帰ってきました。ただ、高大接続に関してもオンラインで紹介を行っているため、なかなか見てもらえず残念です。現在、大学の総合型選抜が実施されていて、一般入試に向けてもテストを作成している最中です。深沢高校からも多くの生徒が入学してくれたら嬉しいと思います。

鎌倉市立手広中学校長 池田委員

現在、鎌倉市立中学校では、全生徒に iPad が配付され、全教室には 65 インチのテレビが設置されています。そのおかげでオンライン授業がスムーズに行われましたので、このまま高校へとつなげていけたらいいと思います。深沢高校はとても落ち着いて生徒が授業も受けていますね。行ける高校ではなく、行きたいと思える高校であると思います。

鎌倉西ライオンズクラブ 池田委員

コロナの影響で、深沢高校の生徒と協働しての地域清掃ができていません。とても残念です。河川の清掃は地域にとっては重要です。来年度こそはできればいいなと思っています。

片岡幼稚園理事長 嶋村委員

幼稚園でもコロナの影響で行事が中止となったり、規模を縮小したりして行っています。ですが、子どもたちは元気に活動しています。深沢高校は環境も良いし、最初の頃よりも今のほうが落ち着いています。

鎌倉市青少年課長 小林委員

鎌倉市青少年課としては、高校生のニーズをうまくキャッチできていないことが課題だと感じています。本日は勉強させていただきます。よろしく願いいたします。

同窓会副会長 堀井委員

同窓会もコロナ禍で思うように活動できていませんが、在校生の応援が少しでもできればいいと思っています。私たちの後輩をよろしくお願いします。

3 今年度の学校運営についての中間報告

(1) 教育課程・学習指導について 河内総括教諭（資料4、学校案内参照）

来年度から新カリキュラムが始まり、年次進行で進んでいきます。学年が上がるにつれて、文系、理系の進路選択だけではなく、幅広い分野から徐々に絞り込んでいき深い学びへと繋げていけるようにカリキュラムを組みました。その中で、スペイン語を開設するなど新たな取り組みもしています。また、県立高校指定校事業として新科目「公共」の研究をしていますが、今年、最終年の3年目となりました。先ほど参観していただいた模擬裁判の授業もその一環です。

(2) 生徒指導・支援について 山本総括教諭（資料6参照）

今年度も予定どおりには行事を実施できませんでした。6月の体育祭は無事に開催しましたが、コロナに配慮したものとなりました。9月に予定していた文化祭は開催できず、10月28日にミニ深高祭として実施しました。できることを取り入れながらも工夫して実施し、特に各クラスのクラス紹介動画はどのクラスも一生懸命制作しました。生徒からのアンケートでも記載されているように、概ね楽しかったようです。来年度は通常に戻せたら良いと考えています。

(3) 進路指導・支援について 北澤総括教諭（資料8参照）

進路状況は資料8のとおりです。生徒の進路先の希望の内訳や4年制大学の受験種別を見ても、コロナの影響をあまり感じさせず、パーセンテージとしては変化の少ないものとなっています。普段から、「行きたい大学に行こう」と呼びかけ、授業でもプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力の育成に力を入れています。1年生で行っているインターンシップについては、昨年度は行えませんでした。今年度は4分の1程度の生徒が行くことができました。また、県専門学校各種学校協会が主催している「仕事の学び場」についても全体の半数ほどが参加できました。合わせれば大半の生徒が職業体験に参加することができました。来年度は全員で参加できたらいいと思っています。

(4) 地域との協働について 小松原総括教諭

本校では40名以上の生徒がボランティア委員として活動しています。ただ、このコロナ禍の中、活動場所としては厳しい制約もあります。屋外でできることを探し、公園2か所で地域の子どもたちと一緒に遊ぶといった活動も行いました。また、学校紹介動画についても生徒が主体となって制作しました。これからも生徒の活動をバックアップしていきたいと思っています。

学校説明会については、11月6日に第1回を行い、12月11日に第2回を予定しております。第1回に関しては応募開始から予約が殺到しました。第2回でもさらなる魅力を伝えていきたいと思っています。

I C T推進担当として少しお話いたしますと、5月に一斉オンライン授業を試行しました。その準備と経験が9月の緊急事態宣言下のオンライン授業につながったと思います。教職員も非常に協力的で助け合いながら実施しています。

(5) 学校管理・学校運営について 河邊総括教諭

防災教育について、今年度は7月に防災避難訓練を行いました。他にも今月に、3年生は津波と豪雨をテーマにしたDVDの鑑賞、2年生は避難所運営ゲームをそれぞれ実施しました。1年生は2月に災害図上訓練を予定しています。昨年度に引き続き、コロナの影響で夏休みを利用した防災宿泊訓練は実施できませんでした。

学校生活における感染症対策ですが、マスクの着用、手指消毒など基本的な感染症対策は励行しております。学校管理運営グループとして難しさを感じているのは、ゴミ箱の設置と大掃除などの清掃活動が思うようにできないことです。生活の中で出るゴミは各自生徒に持ち帰りをしてもらっていますが、それでも日々の生活の中でゴミは出ますので難しい問題です。

(6) 生徒指導について 大谷総括教諭

生徒指導グループとしても、コロナ対策は生徒に徹底をさせています。換気や手指消毒、黙食など指導していますので、その中で生徒はよく我慢をしていると思います。ただ、感覚的には、その我慢の中でメンタル的にうまくバランスをとれない生徒も多いのではないかと感じています。先日も何気ない生徒への声掛けから、生徒が抱える不安に気付くことができました。また、バスの乗車マナー、自転車の通行マナーなど地域の方から苦情のお電話をいただいています。しっかりと指導をしていきます。

(7) 学校施設開放の状況 高野事務長（資料9参照）

資料のとおり、本校はテニスコートの施設開放をしています。現在登録している団体は4団体ですが、コロナの影響で施設開放中止期間もあり、昨年度の利用は1団体の2回のみでした。

(8) 年間行事計画について 村田副校長（資料5参照）

資料のとおり、学校計画も多々変更を余儀なくされています。そのような中でも職員は協力体制がとれており、臨機応変に教育活動を行っています。

4 各委員からの説明に対する質問や感想

里見委員：素晴らしい対応をされていると思います。

新カリキュラムについて、1学年から3学年まで一貫指導するにあたり、どのようなことに配慮していますか。

オンライン授業の状況はどのようになっていますか。

オンラインと対面授業、学力の定着に差はありますか。

回答：本校でもそうですが、Google classroom を活用してオンライン授業を行っています。教員も生徒もオンライン授業に対してについては慣れてきています。オンライン授業と対面授業の定着の差については分かりませんが、授業の進捗状況については差があるように思います。(小松原総括教諭)

嶋村委員：公共の授業について、今年衆議院選挙が行われました。そのアプローチについて教えてください。

諸国の人権問題に関しても、どのように取り組んでいるのか、教えてください。

回答：カリキュラムに関しては、進路の実現に向けて、より絞り込んでいけるように配慮しています。2年次には文系・理系の選択、3年次には選択科目と、学年が上がるにつれて幅広い分野選択から徐々に絞り込んでいけるようなカリキュラムになっています。また、3年生の約半分の生徒に今回選挙権がありました。そこで3年生には朝の10分間を使って1週間、選挙の授業を実施しました。

人権問題については、現代史の授業の中で取り上げています。(河内総括教諭)

小林委員：ボランティア委員会の活動について、もし良ければ鎌倉市の事業である「放課後かまくらっ子」にも是非参画してください。

心の不調を訴える生徒について、気になりました。

鎌倉市では、「若者チャレンジ」というものを開催し、6日間のプログラムで若者をサポートする取組みを行っています。やる気が起きない若者を対象に語り合う、街歩きをするなどのプログラム内容です。是非とも参加してください。

鎌倉西ライオンズクラブ 池田委員

：年間行事への影響がある中で、ミニ深高祭が開催されたことは、生徒にとっては良かったと思います。

コロナによる生徒のメンタルケアについて、気になりました。

堀井委員：コロナ禍の中、不調を訴える生徒について気になりました。

社会問題としてヤングケアラーの問題があります。どのように支援してくのか、どのような機関へとつなげているのか、学校としてあるならば教えてください。

回答：コロナの影響であると断言はできませんが、生徒のしんどい様子が学校生活の中か伝わってくる場合があります。様々な場面で生徒への声掛けをしながら情報をキャッチし、早期発見、その後のケース会議、教員間の情報共有とつなげていくことが大事であると思います。(大谷総括教諭)

鎌倉市立手広中学校長 池田委員

：修学旅行の行き先が関西方面へと変更になったことについて教えてください。
カリキュラムの選択方法について教えてください。

回答：修学旅行については、当初東北地方での震災学習がメインでしたが、3月の実施となり関西方面での震災学習へと切り替えました。3月の東北だと雪のリスクがあるため、変更となりました。(大谷総括教諭)

萩谷校長：神奈川県内の高校生の自死者数ですが、昨年度は14名でした。今年度はすでに9名を数えます。昨年度を上回る可能性もあります。各学校スクールカウンセラーが来校しますが、本校も月2回スクールカウンセラーが来校します。

6 スクール・ポリシーについて 萩谷校長（資料7参照）

各高校で教育活動を統一し継続していくために、スクール・ミッション及びスクール・ポリシーを設定します。スクール・ミッションは設置者である県教育委員会が各高校の意義や目的を示すもので、スクール・ポリシーはスクール・ミッションに基づいて各高校で策定します。スクール・ポリシーのグラデュエーション・ポリシーでは3年間で育てたい能力を、カリキュラム・ポリシーではグラデュエーション・ポリシーを実現するためにどのように教育課程を編成・実施するのかを、アドミッション・ポリシーでは入学者に期待する生徒像をそれぞれ示しています。内容としてわかりやすく、また教育活動の幅を狭めないように気を付けながら策定します。今後、1月に県教育委員会へ提出し、4月に公表となります。

(すべての協議事項について承認をいただきました)

7 池田副会長あいさつ

中学生の進路選択として、深沢高校は行ける学校でなく、行きたい学校となっています。私が勤務している手広中学校の教員にも、自分が習いたい授業、自分の子どもを入りたい学校と思えるように取り組むよう伝えていきます。本日はありがとうございました。

以上